

令和2年度

事業報告書

法人本部

特別養護老人ホーム

(看護・栄養部門)

阿木デイサービスセンター

居宅介護支援事業所

ヘルパーセンター

グループホーム

大井シクラメン

包括支援センター

社会福祉法人 敬愛会

令和2年度 事業報告 (概要報告)

		敬愛会 法人本部	
①	事業実績	法人運営の基盤強化 施設内監事監査実施 外部会計士(定期的診断) 各種規程整備 育児・介護休業等に関する規定の改正(働き方改革) (改正・制定) 就業規則・給与規定の改正(特定処遇改善加算分の支給) 臨時職員規定・キャリアアップ奨励基金規定の改正 設備関係(ハローワークの助成) 特養及び大井の特殊浴槽入替えを実施 【3年計画】特養入居者用電動ベッドを順次入替え実施 感染対策助成事業 県のコロナ感染対策費用の助成により改修工事及び備品の購入	
		項目	実施
②	会議	理事会	6回(5月・10月・12月・1月・2月・3月)開催 2月=サービス付き高齢者住宅の運営に係る検討
		評議員会	1回(6月通常評議員会)開催 ・12月臨時評議員会は中止 6月=決算承認、コロナ感染症対策の報告
		運営会議	毎月2回開催(24回) 拡大運営会議(次長職以上)3回
③	運営	感染対策	職員への行動指針、施設への入館規制、面会制限など実施
		中長期計画	中長期ビジョンを策定。認知症対応型通所介護、特養増床、サ高住運営 訪問看護、職員住宅建設等を検討。
④	研修・事業	研修	法令遵守研修会 職員全体研修会を紙面で実施
		事業	指導・監査 県による法人指導監査実施:文書指導1件(会計処理) 口頭指導4件あり 外部評価 事業所満足度調査を実施し、結果を第三者評価委員に報告 して意見聴取。
	奨学金制度	奨学金制度利用者=ナゴノ福祉医療専門学校生1名就業	
	地域貢献事業	施設車両利用(貸出)=10件 多目的ホール使用=0件	
⑤	その他	取組み報告	1、介護人材育成事業所認定制度グレード2取得 2、外国人技能実習生の二期生着任:実習開始(計6名) 3、キャリアパス評価制度の充実と実践:モチベーションの向上を図る
		設備・備品	1、1F非常灯設備の入れ替え(停電灯のLED化) 2、感染対策改修工事の実施 ①隔離コーナー設置工事(阿木デイサービス) ②ボランティアルームを職員休憩室へ改修(利用者分散) ③一般浴室の脱衣室密解消改修工事 ④デイサービスフロア密解消拡張工事(大井シクラメン) 3、阿木シクラメン敷地内全街路灯:LED灯に変更 4、電気自動車を導入、非常用発電設備に給電システムを利用
		行事・生活	1、阿木シクラメン夏祭り:コロナ感染予防のため規模縮小 2、大井シクラメン納涼祭:コロナ感染症蔓延のため中止 3、全ての事業所:コロナ感染予防対策により外出・外来行事の中止 4、ガラス越し面会・LINEによるカメラ通話面会の実施
		地域	1、春日井邸解体、臨時駐車場として整備 2、中津川市第8期介護保険福祉計画に認知症デイと特養増床を起案
⑥	成果課題	課題	1、空調設備の老朽化に伴う空調入替えについては、1~2年以内に入れ替えが必要であり、約1千万円を見込む。(事務・DSエリア) 2、4年度の開設を目途にサ高住の運営検討必要
		次年度の展望	1、設備の耐用年数に留意し、施設機能の維持のための計画的な機器の更新や修繕を実施し、設備の維持管理に努める。 2、社会福祉をめぐる動向や法人の運営状況を見極めながら、事業の拡充に向けた検討を進め、託児所や職員宿舍の整備など福利厚生の在り方について検討し、段階的に取り組む。 3、各事業所の業務負担を精査し、業務の標準化・平準化を図る。

令和2年度 事業報告書

基本方針

特別養護老人ホームシクラメン

①	利用者中心のサービス提供	○特養入退所状況表														
		入所者状況														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		入所者	2	1	1	1	1	0	2	3	1	3	4	1	20	
		内訳	在宅			1	1				1			2		5
			老健他	2	1			1		2	2		3	2	1	14
			病院									1				1
		退所者状況														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		退所者	2	1	0	1	1	2	1	2	3	4	2	1	20	
内訳	施設	1	1		1	1	2	1	2	3	1	1	1	15		
	病院	1									3	1		3		
	入院他													2		
○令和2年度稼働率 (R1)・入所 97.5% (97.3%) ・ショート 93.1% (105.6%)																
○ケアプランに基づいた個別ケアの実施 (月1回のモニタリング記録の整備)																

		計 画					取 組 み				
--	--	-----	--	--	--	--	-------	--	--	--	--

②	地域福祉への貢献	1	ボランティア・福祉体験の受け入れ	①	感染症対策のため受け入れを中止する。
		2	地域の方々も参加して頂ける行事の計画・実施	①	夏まつりは地域の方・ご家族の参加を中止。感染症対策を行い、職員と利用者で施設内にて開催する。(デイサービスホールにて開催)

③	職員の資質の向上	1	施設内研修の実施	①	施設内研修9回実施 (前年度10回) 累計参加職員数135人 (前年度151名)
		2	介護福祉士資格取得の奨励	①	介護福祉士実務者研修 1名履修
		3	喀痰吸引実地研修の実施	①	指導看護師1名在籍 50時間研修履修者に対する研修実施 (3名) 新制度介護福祉士に対する研修実施 (5名)
		4	苦情受付体制を整える	①	ショート利用者より 2件/12月 (守秘義務・言葉使い)
		5	利用者の健康管理 感染症の発症・蔓延予防	① ② ③	インフルエンザ発症 入所者0名 (R1.1名) 事故報告書件数122件 (195件) 内骨折1件 ヒヤリ・はっと件数 529件 (527件) コロナウイルス感染症対策の実施 リモート・ガラス越しで面会を実施する。 職員・利用者毎日検温実施する。 来所者の検温実施する。 コロナウイルス陽性者 利用者 0名 職員 0名

⑤	健全経営の確保	1	基準に沿った円滑な入所判定と手続き	①	入所判定会議の開催 15回/年 入所申込者の現状把握 1回/月
---	---------	---	-------------------	---	------------------------------------

⑥	今年度の成果	1	技能実習生への技術習得支援	①	第2期 技能実習生の受け入れ (第2期生 3名)
		2	パート職員対象の研修会	①	パート職員対象の研修会を実施 研修内容「褥瘡について」 9名
		3	ショート新規利用者の契約・利用	①	新規契約件数11名 利用件数6名

⑦	来年度への課題	1	継続的な感染症対策の実施。 コロナ禍での業務継続の工夫。 人材の育成・定着。	①	・ワクチンの接種と標準的感染症対策を基本に感染対策を継続し、利用者・職員の感染防止に努める。 ・感染対策を行いながらも、できる事に目を向けた業務内容の工夫を行います。 ・目標を明確にして達成感を感じられる育成方針と資格取得を支援する。
---	---------	---	--	---	---

		令和2年度 事業報告												
基本方針		阿木デイサービスセンター												
利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	【利用者数】 (単位:名)													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	支援1 人数/ 延人数	5/ 23	5/ 19	4/ 16	3/ 14	3/ 12	3/ 14	3/ 12	3/ 12	3/ 14	2/ 8	2/ 8	1/ 5	37/ 157
	支援2 人数/ 延人数	7/ 33	6/ 29	6/ 38	7/ 46	7/ 43	6/ 37	6/ 36	7/ 41	6/ 35	6/ 34	6/ 40	6/ 40	76/ 452
	介護1 人数/ 延人数	27/ 196	26/ 189	31/ 237	32/ 250	30/ 221	31/ 263	32/ 263	30/ 228	35/ 281	33/ 247	35/ 254	36/ 281	378/ 2910
	介護2 人数/ 延人数	22/ 163	21/ 168	25/ 196	26/ 207	28/ 219	28/ 240	27/ 220	25/ 185	19/ 144	19/ 129	19/ 139	18/ 155	277/ 2165
	介護3 人数/ 延人数	16/ 137	16/ 130	17/ 143	17/ 160	17/ 159	19/ 169	20/ 178	18/ 173	17/ 154	14/ 126	17/ 132	16/ 161	204/ 1822
	介護4 人数/ 延人数	5/ 34	3/ 24	4/ 35	4/ 35	5/ 48	5/ 48	5/ 56	6/ 45	7/ 54	7/ 44	6/ 48	8/ 69	65/ 540
	介護5 人数/ 延人数	3/ 23	2/ 7	3/ 30	3/ 23	3/ 24	1/ 8	2/ 16	2/ 9	1/ 6	1/ 3	1/ 8	2/ 8	24/ 165
	総合事業 合計	12/ 56	11/ 48	10/ 54	10/ 60	10/ 55	9/ 51	9/ 48	10/ 53	9/ 49	8/ 42	8/ 48	7/ 45	113/ 609
	介護 合計	73/ 553	68/ 518	80/ 641	82/ 675	83/ 671	84/ 728	86/ 733	81/ 640	79/ 639	74/ 549	78/ 581	80/ 674	948/ 7602
	合計	85/ 609	79/ 566	90/ 695	92/ 735	93/ 726	93/ 779	95/ 781	91/ 693	88/ 688	82/ 591	86/ 629	87/ 719	1061/ 8211
		【曜日別一日平均利用者数】 (単位:名)												
		日	月	火	水	木	金	土						
		0	27.6	26.4	27.8	23.0	29.1	25.5						
	* 可動日数 309日 1日平均 26.6名(目標: 29.1名)													
	* ニーズに合わせ入浴・機能訓練・余暇活動を提供。吊るし雞鑑賞・手作りおやつ(五平餅)													
	計 画						取 組 み							
②	地域福祉への 貢献	1	地域ニーズに沿った サービスを充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業「あんきなくらぶ」への参画 ・認知症サポーター養成講座 講師 ・地域個別ケア会議への参加 										
		2	地域交流の活用・活動に勤める	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア: 0件 ・見学者: 1名 										
③	職員の資質の 向上	1	専門職としての資質の向上を図り、 専門性の高いデイサービスにする	[施設内研修] 手洗講習 介護技術向上研修会 [施設外研修] 多職種連携アセスメント研修 介護福祉士実務者研修2名(介護福祉士1名合格)										
④	安全管理の徹 底	1	利用される方や家族が安心・安全に 利用していただけるように努めます	リスクマネジメント委員会開催(1回/月) <ul style="list-style-type: none"> ・介護事故: 30件(転倒 21件、外傷 6件、その他 3件) ・ヒヤリハット: 162件 ・苦情対応: 3件 ・車両事故: 9件⇒安全運転講習 DVD 視聴(1月) 										
		2	感染症の予防に努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・利用者手洗い奨励(日常の声かけ・研修会参加) ・テーブル・手すり等の消毒 ・新型コロナウイルス対応(乗車前検温・マスク着用・パーティション・一般浴脱衣場拡張工事実施) 										
		3	災害時対応できるよう努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害対策 9/4 避難誘導訓練 10/30 停電時非常電源活用訓練(リーフ) 										
⑤	健全経営の確 保	1	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善: 月1回デイ運営会議・専門職連絡会 										
		2	デイ利用者の確保や選ばれる施設作 りに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査の実施 ・生活相談員による施設外活動 										
		3	経費の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化を図るため、随時業務見直し実施 										
⑥	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において事業所内感染防止を図ることができた。 ・談話スペースやソファ等を設置し、利用者の活動場所の拡大を図った。 ・専門職連絡会により、業務改善に向けた職員間の情報共有、協議の場が増えた。 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査: 昨年度に続き満足度は比較的高いが「わからない」回答あり広報が不足⇒広報委員会設置 ・評価に基づいた、さらなる個別ケアと余暇の充実を図る必要がある⇒評価体制の強化 ・地域の利用者数減少傾向あり(特に要支援者)。近隣地域の利用者も増えつつあるが、健全経営のため当事業と共に、地域ニーズに沿った柔軟性かつ多様性のある事業展開(資源の掘起し)も検討する必要がある 												

令和2年度 事業報告書

事業部門		居宅介護支援事業所 シクラメン	
基本方針			
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	要介護1～5 実績人数 1338名(月平均 111名) 要支援1～2 実績人数 172名(月平均 14名) 職員数 4.2人(加算Ⅱ) (一人担当平均月/29件)	
		計 画	取 り 組 み
②	地域福祉への貢献	1 地域を考え、地域を作る	① 地域ケア個別会議への参加 阿木ふるさと福祉村との連携 恵那/飯地自治会ケア推進会議への参加
		2 認知症の方も安心して暮らせる地域・福祉と医療関係機関との連携	① 新型コロナウイルス感染症の為、FAX・電話・オンラインでの連携 民生委員・警察との連携
		3 在宅医療と福祉を考える事を地域へ発信	① 廻木診療所とカンファレンス(1回) 暮らしの保健室への参加(1回)
		4 地域力の底上げ	① ケアマネ実務研修の実習生受入れ協力(1名)
③	職員の資質の向上	1 専門職として必要な情報収集	① 県居介協等研修会参加 ケアマネ部会(恵那・中津川)参加(オンライン) 主任更新研修終了 1名
		2 居宅での情報共有・改善提案	① サービス提供の為の留意事項に掛かる伝達会議等を目的とした週1回以上の会議開催 介護支援専門員の退職 1名
		3 事例検討より学ぶ	① 他法人間研修 地域個別ケア会議の事例提供 虐待研修会への参加(オンライン)
		4 障害分野・成年後見との連携	① 障害・成年後見人との相談・連携 難病支援研修(オンライン)
④	安全管理の徹底	1 ケアマネサービスについて	① 感染症対策(地域交流センター第2居宅・5月～11月) 業務継続にむけた取り組みの強化
		2 ケアマネの質の向上	① 法令順守・守秘義務・相談様式見直し 介護支援専門員の研修参加(オンライン)
		3 利用者、家族が安心してサービスが受けられる	① 個人情報の漏えい防止への意識の徹底。(個人ファイルの管理)
⑤	健全経営の確保	1 サービスの質の向上	① 運営基準に沿った業務管理 利用者から選ばれる居宅に努める
		2	② 処遇困難な方の受入れ等
		3	③ 24時間連絡体制の確保と必要時相談に 応じる体制の確保
成果と課題		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年までとは違った令和2年度となる。居宅を2つに分け、専門職として感染症が拡大した場合の業務継続を早い段階から検討・取り組むことが出来た。柔軟に新しい zoom の活用を業務に取り入れ、オンラインで研修・病院と連携できたことは成果。</p> <p>【課題】 1/介護支援専門員の人材育成が今後の大きな課題。 2/感染対策しながらの業務継続 3/地域作り・人作りにむけて</p>	

令和2年度 事業報告書

事業部門		ヘルパーセンター																																																						
基本方針		・土日の営業、早朝夜間対応がある事業所として、また特定地域加算事業所、特定事業所加算のある事業所として、ケアマネジャーとの連携を密にしながら、登録ヘルパーの活動により、出来る限り対応。ご利用者の意思、人格を尊重した活動内容、計画的な職員研修、定例ミーティングを実施し誠意を持ったサービス提供を実施。																																																						
		職員体制 管理者（1.兼務）常勤（2）契約・常勤パート（1）登録（10） サービス提供地域 中津川市（主に阿木地区、手賀野・茄子川） 恵那市（主に大井、長島、笠置、飯地、中野方、武並、三郷、岩村、山岡） 利用者実績数（延べ回数）																																																						
④	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>55</td> <td>53</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>60</td> <td>61</td> <td>62</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>683</td> </tr> <tr> <td>前年</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>55</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>644</td> </tr> </tbody> </table>													月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	人数	55	53	57	58	55	58	60	61	62	55	55	54	683	前年	54	53	53	52	55	62	59	57	48	51	49	51	644
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																									
人数	55	53	57	58	55	58	60	61	62	55	55	54	683																																											
前年	54	53	53	52	55	62	59	57	48	51	49	51	644																																											
		※ 訪問延べ件数 7678件 (前年-134件) 訪問時間合計 6871 : 前年比 -184時間																																																						
		計 画						取 組 み																																																
②	地域福祉への貢献	1	地域のニーズに沿ったサービス提供				②	地域の関係機関との連携を密に実施。可能な限り提供可能時間帯におけるサービスの提供を行う。 年未年始休業中の特別対応 実績0件																																																
		2	障害者を家族に持つ高齢世帯への支援				③	ケアマネと連携し、家族の方にも寄り添いながら支援																																																
③	職員の資質の向上	1	個別研修計画により、新人研修、スキルアップ研修を行い、質の高いサービス提供を行う				①	サービス提供責任者向け研修参加 事業所内研修4回実施。介護知識、技術の向上 多職種連携研修 参加																																																
							④	地域包括支援センターなどの研修への参加																																																
④	安全管理の徹底	1	全職員健康診断 年1回 全職員腸内細菌検査 年2回				①	9月実施																																																
							②	4月、10月実施																																																
		2	感染症予防				①	全職員インフルエンザ予防接種																																																
							②	研修参加し、感染予防に努める マニュアルに沿ったサービス提供の実施																																																
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上				③	定例ミーティングにおける事例検討 各種研修会への参加・事業所内研修会実施																																																
		2	新規利用者の受け入れ				②	ケアマネジャーと連携し可能な限り対応																																																
		3	新規登録ヘルパーの養成				③	新規登録ヘルパー 採用なし																																																
⑥	成果と課題	成果	今年度事業所内研修4回実施 介護保険外（自費）サービス希望あり、他事業所へ繋げました。今後検討していく				課題	介護保険外（実費）サービスの検討 早朝夜間の対応と土・日の対応ができるヘルパーの確保																																																

令和2年度 事業報告書

事業部門		グループホーム	
基本方針		※令和2年度は行事・会議等を『コロナ感染症対策』をしながらの対応とした。	
⑤	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・1ユニット9名 利用率99.8% 1日利用平均 9.0名 ・入退所状況 退所 1名 (12月9日/有料老人施設への転居) ・ 入所 1名 (12月12日/阿木独居・女性・88歳) ・病院入退院 12月24日～12月30日 (市立恵那病院入院) ・ショートステイの実施/今年度実施無し ・施設内事故報告・大きな事故の報告無し ・4月11日 春の家族会中止 (書面による報告) 施設内行事昼食会実施 ・11月14日 秋の家族会中止 (書面による報告) 施設内行事五平餅会実施 ・中津川市のグループホーム部会に参加し他の GH との連携を取るようにした。(感染症対策にて中止の月あり・9月・11月のみ開催され参加した。) ・運営推進会議6回開催 (内5月・7月・1月・3月は感染症対策のため中止とし書面による報告に変更した。) ・外部評価・5年連続評価受け、今年度の評価免除申請受理された為、実施なしとした。・五感健康法 (感染症対策のため制限し中止としました。) ・じいばあそば打ち交流会 ・阿木地区敬老会 ・阿木区民運動会・ラン伴・ ・吊るし雛祭り見学 など地域の方との交流を計画したが、今年度は感染防止対策の為中止とした。(感染症対策しながら3月に阿木地区の作品展の催しに参加した。) 	
		・計 画	取 組 み
②	地域福祉への貢献	1 阿木地区・地域交流	⑤ そば打ち交流会・敬老会・運動会・小学校交流会・オレンジカフェ等今年度は不参加となる。
③	職員の資質の向上	1 実務者研修	① 今年度受講者なし
		2 各種研修・資格習得	③ 介護福祉士・1名取得。
		3 月1回の事業所内研修	① 毎月テーマを決めて実施した。特養の施設内研修にもできるだけ参加した。
④	安全管理の徹底	1 事故防止	③ <ul style="list-style-type: none"> ・転倒事故 1件 骨折事故 0件 ・ヒヤリハット6件、事故報1件 ・GH 会議や運営推進会議にて報告行う。
		2 感染症マニュアル	① 敬愛会感染症マニュアルに準じて整備した。
		3 防災マニュアル	② 避難訓練を特養に乗じて行う (9月) ② 夜間対応想定避難訓練 (9月)・連絡網伝達
⑤	年間行事計画	1 季節感のある行事	4月花見5月よもぎ餅作り6月朴葉寿司作り 8月夏祭り・流しそうめん・9月ぶどう狩り 10月野外食・11月五平餅会 (さんま焼き) 12月忘年会・1月初詣・2月節分会・3月吊るし雛見学 主に施設内行事で行った。
		2 誕生会	① 入居者の誕生日に合わせて行った。
		3 個別外出	① 最小限にとどめるようにした。
⑥	成果と課題	令和2年度はコロナ対策の対応に追われる1年となった。課題としては個々の利用者 に合った介助方法統一を目指していく。新しい行事計画等、新たな挑戦をしていく。	

令和2年度 事業報告書

事業部門
基本方針

デイサービスセンター 大井シクラメン

【利用者数 (単位：人)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象	人数	2	1	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	12
	延人数	5	4	6	8	7	5	1	0	0	0	0	0	36
要支援1	人数	3	3	4	4	3	4	4	4	5	4	5	6	49
	延人数	11	12	16	13	11	12	14	17	13	15	18	29	181
要支援2	人数	6	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62
	延人数	38	36	46	39	43	42	41	41	41	34	36	43	480
要介護1	人数	13	10	14	13	13	11	12	13	12	14	15	12	152
	延人数	72	64	89	78	100	87	91	96	95	92	92	83	1039
要介護2	人数	18	17	20	20	18	21	19	19	19	18	16	18	223
	延人数	147	138	166	167	174	193	175	155	167	143	129	172	1926
要介護3	人数	17	15	13	13	13	13	11	11	10	10	10	9	145
	延人数	101	90	93	95	99	104	90	87	71	64	64	62	1020
要介護4	人数	11	13	14	12	11	10	12	11	12	11	11	10	138
	延人数	52	70	68	71	72	70	73	76	82	70	64	70	838
要介護5	人数	6	6	7	6	8	7	7	4	6	6	4	5	72
	延人数	29	39	37	41	42	44	41	28	38	39	30	32	440
合計	人数	76	70	80	75	73	73	71	67	69	68	66	65	853
	延人数	455	453	521	512	548	557	526	500	507	457	433	491	5960

*1 日平均利用者数 16.5 人 [稼働率 66.0%] (前年度比-1.2 人)

*1 日あたりの利用目標数 17.5 人 ⇒ 達成率 94%

		計 画	取 組 み
①	ニーズに添えるサービス提供	1 通常利用時間以外の受け入れ	・臨機応変な利用時間対応が可能な事をケアマネジャーに周知する事で、新規利用に繋がった。
		2 機能訓練の充実	・機能訓練指導員によるリハビリの他、介護職員による体操も毎日実施し、介護予防に努めた。
		3 個別レクリエーション	・新型コロナウイルス感染症防止のため、外出行事は自粛とした。 ・感染対策の徹底の上で室内レクリエーションを実施した。
②	信頼されるサービス提供	1 介護事故ゼロのサービス提供	・事故9件 ・ヒヤリハット31件 ・事故防止会議を月1回開催し、再発防止に努めた。
③	人材育成 (共通)	1 キャリアアップ制度に応じた人材育成	・職員各自がチャレンジ目標を定め、達成に向けて取り組んだ。
④	地域交流活動 (共通)	1 広報紙の定期発行	・大井シクラメン広報：年2回発行 (デイ・ショート利用者に配布) ・飯地シクラメン広報：年1回発行 (飯地町全世帯に配布)
		2 納涼祭の開催	・8/29 (土) 開催予定だったが、コロナ禍のため中止とした。
⑤	環境整備 (共通)	1 給湯器の買替	・4月交換実施。
		2 利用スペース拡充	・「コロナ感染予防対策支援金」を活用して、R3年2月に厨房改修工事を行い、配膳棚を撤去してデイホール拡充を行った。
		3 業務の効率化	・R3年2月の厨房改修工事後、食事提供を3月1日から業者委託から自社提供とした。 (セトラキッチンとすることで経費削減を図る)
⑥	ワラワ型サービス 飯地シクラメン	1 飯地町交流活動	・週2日間稼働 (火・土曜) ・年間延べ利用者数394人、実人数6人 ・地域交流事業への参加 (協賛) は、コロナ禍のため、すべての行事開催が中止となった。
成果と課題		<p>【成果】 感染対策を徹底し、幸いにも感染者は出なかった。</p> <p>・R3年2月の厨房改修工事によりデイホール拡充を行ったことで、密集を改善することが出来た。</p> <p>【課題】 デイホール拡充を有効活用し、座席数20席を22に増やして利用者確保に努めたい。</p> <p>・飯地シクラメンの利用者確保が必須である。</p>	

令和2年度 事業報告書

事業部門
基本方針

ショートステイ 大井シクラメン

【利用者数 (単位：人)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	人数	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	延人数	9	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	16
要介護1	人数	2	4	3	4	5	5	5	5	3	3	5	4	48
	延人数	5	21	17	20	26	22	25	30	16	16	25	31	254
要介護2	人数	11	8	10	10	12	13	14	11	13	11	10	9	132
	延人数	66	34	68	67	74	72	81	79	81	67	67	72	828
要介護3	人数	17	17	18	18	21	21	21	19	17	19	16	18	222
	延人数	137	150	138	150	152	156	163	161	146	161	140	148	1802
要介護4	人数	6	5	6	8	7	8	9	8	9	8	7	6	87
	延人数	45	33	55	59	49	58	59	55	68	62	51	55	649
要介護5	人数	4	3	5	4	4	4	5	4	6	6	6	4	55
	延人数	37	37	43	53	51	47	50	43	55	61	49	49	575
合計	人数	41	37	43	44	50	51	54	47	48	47	44	41	547
	延人数	299	275	326	349	354	355	378	368	366	367	332	355	4124

*1 日平均利用者数 11.3 人 [稼働率 86.9%] (前年度比+0.3 人)

*1 日あたりの利用目標数 11.8 人 ⇒ 達成率 96%

		計 画	取 組 み
①	ニーズに応えられるサービス提供	1 住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの提供	・新規利用者の受入れを、積極的に行った。
		2 利用者一人一人に適したサービスの提供	・定期(月 1 回)カンファレンス実施 ・評価を行い一人ひとりの状態把握とニーズが捉えられた。
		3 緊急ショートの受入れ	・R2 年度は該当者なし。
②	信頼されるサービス提供	1 介護事故ゼロのサービス提供	・事故報告 11 件 (うち転倒事故 6 件) ⇒転倒事故 6 件中、コルマットスイッチ忘れによる転倒事故 2 件あり(職員ミス) ・事故防止委員会を月 1 回開催し、予防対策に努めた。
③	人材育成(共通)	1 キャリアアップ制度に応じた人材育成	・職員各自がチャレンジ目標を定め、達成に向けて取り組んだ。
④	地域交流活動(共通)	1 広報紙の定期発行	・大井シクラメン広報：年 2 回発行(デイ・ショート利用者に配布)
		2 納涼祭の開催	・8/29(土)開催予定だったが、コロナ禍のため中止とした。
⑤	環境整備	1 ホール環境の見直し	・ホールとEバーターホールとの引き戸を撤去し、ホール拡張を行い3密防止を図った。 ・EバーターホールにITV設置(6月)
成果と課題		<p>【成果】年度開始時、緊急事態宣言下により利用者数減少止む無しの状況だったが、その後新規利用者の受入れに尽力し、目標数値に近づけることが出来た。また、感染予防対策を徹底し、幸いにも感染者は出なかった。また、ショート利用中のベッド等の配置を利用者の自宅環境に合わせた配置にした結果、前年度より転倒事故が減少した。</p> <p>【課題】利用者居室環境が、開所時から変わらない(ベッドと床頭台とテレビがあるだけ)環境ため、リニューアルを検討していきたい。</p>	

令和2年度 事業報告書

事業部門 基本方針		中津川市シクラメン地域包括支援センター			
	計画	業務	取り組み		
利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	1	総合相談支援業務	総合相談支援業務	①	相談件数【522件/年】 (内訳/訪問 158件、来所 40件、電話 324件)
		高齢者実態把握事業		②	相談実人数【109人/年】
	2	台帳・記録の整備		①	把握件数【84件/年】
	3	各種サービスの情報提供及び利用啓発と調整		①	高齢者台帳・記録の整備、管理
地域福祉への貢献	1	地域関係機関との連携	総合相談支援業務、医療連携	①	相談協力員懇話会の開催【1回/年(書面開催)】
				②	関係機関会議への出席
		③		地域包括支援ネットワーク会議及び事務局会議の開催・取り組み	
		④		新規暮らしの保健室の実施(相談事業、健康講座)	
	2	地域住民に対し地域づくり、介護予防等への働きかけを行う	包括的・継続的ケアマネジメント業務(地域ケア会議)	⑤	地域ケア会議、地域ケア個別会議の開催【6回/年】
				総合相談支援業務(生活支援体制整備含)	⑥
	3	認知症に関する情報提供及び理解の普及啓発を図る	介護予防事業		⑦
				認知症高齢者及び家族への支援業務	①
	4	虐待防止、権利擁護等の推進	権利擁護業務		②
				③	阿木いきいきリハビリ体操指導士会(あじさいの会)運営協力【3回/年】
職員 の 資 質 向 上	1	各種研修会、会議参加	権利擁護業務	①	介護者の集いの開催【3回/年】
				②	認知症サポーター養成講座開催【3回/年】
安全管理の徹底	1	地域住民等が安心して利用できる様に務める	個人情報保護	③	あぎオレンジカフェ(認知症カフェ)は、新型コロナウイルス感染状況を鑑み実施なし
				①	消費生活、成年後見制度への相談・連絡等の連携
健全経営の確保	1	サービスの質の向上	組織運営体制、利用者満足向上	①	支援センター部会、包括連絡会、包括運営協議会、包括職員各種研修会、その他研修への参加(オンライン含)
				①	守秘義務等法令の順守、包括機能評価の実施と検証
その他	1	その他の取り組み		①	安定した体制の確保、包括機能評価の実施と検証
				①	機関紙発行(2年度よりネット印刷)、ホームページの作成と更新
成果と課題	前年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響、それに伴う2度の緊急事態宣言等により令和2年度の地域包括の事業は例年通りには進まず試行錯誤しながらも、感染予防を当たり前とした上での事業実施に向け、新たな試みや対応に挑戦した年になった(他包括、関係機関とのさらなる情報交換、連携を図り)。課題については、感染防止を行った上で事業をどう継続、実施していくか。挑戦はもとより、工夫と創造、地域への展開力等がさらに求められる。地域包括ケアシステムの具体化の歩みを止めない様に前進していく。				